

CA-3P

全段無帰還回路の電流増幅動作フォノアンプを新たに搭載しました。
ディスクリート部品構成により躍動感ある空間表現を実現。

NEW!



オーディオアクセサリ誌 オーディオ銘機賞 2009
ステレオサウンド誌 ザ・ベストバイ・コンポーネント 2008 プリアンプ 60万円未満 1位

既に発売のモデルCA-3コントロールアンプは、オーディオ再生の要とも言える音量調整機構に、新たな発想で開発された電力損失の無い、高入力インピーダンス、低出力インピーダンス特性を持つ理想的な音量調整回路、＜ハイブリッドゲインコントロール＞を採用しています。この理想的な音量調整回路を搭載したCA-3をより広範の市場の要請にお応えするため、**新型フォノアンプを内蔵したCA-3Pを発売いたします。**

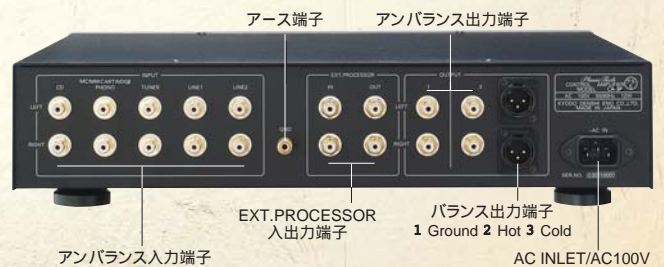
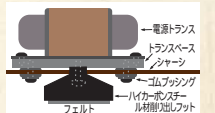
オールディスクリート部品による無帰還型フォノアンプ回路
音楽表現力の拡大を目指し、本機に適した電流増幅動作による全段無帰還回路構成のフォノアンプを新たに開発しました。
現代アンプの主流をしめている負帰還アンプは入力信号と出力信号を常に比較し、この差(補正信号)を入力信号として増幅するためにローコストで高精度の増幅が可能です。
これに対し無帰還アンプは入力信号そのものを増幅する点が大きく異なります。しかし無帰還アンプでは、構成する部品と動作点設定に高い精度が要求されコストがかかりますが、音楽の躍動感、ダイナミクス、陰影感の表現に優れ、オーディオファイルの強い支持を得ている増幅形式で、フェーズテックのアンプはすべてこの増幅回路を採用しています。
本機では、厳選された能動素子を理想的な動作をさせるために、ディスクリート部品による回路構成を採用しています。この結果アナログディスクならではの「瑞々しい音色、躍動感と高S/N、空間表現の両立」を上級機に匹敵する高いレベルで達成しています。

理想的なゲインコントロールを実現した音量調整回路
上級機CA-1で開発された「ハイブリッドゲインコントロール回路」を本機に採用しました。インピーダンスマッチング理論により、ソース機器から送られる信号の電力損失を生じない＜理想的なゲインコントロール＞を可能にし、本機の音量調整回路は必要十分な音量分解能(48レベル)を一切のアクティブ素子を用いることなく、高入力インピーダンス、低出力インピーダンスで実現しました。
使用頻度の高い小音量においても、鮮度感のある生々しい音楽をお楽しみいただけます。
本機では、このゲイン切り替えに、電子スイッチを採用し、縦続接続による音質劣化を避けるために、規模は大きくなりますが、あえて48ステップ1段の減衰器でコントロールをし、十二分なダイナミックレンジとリニアリティを確保しています。

半導体素子による増幅回路
音楽表現力の拡大を目指し、弊社オリジナルFULL SYMMETRICAL NON-FEEDBACK CIRCUIT™を採用、半導体に適した電流増幅動作による対称無帰還回路で、躍動感にあふれた表情豊かな音楽の再生に加え、「豊かな音の階調表現、躍動感とS/N、卓越した空間表現の両立」を達成しています。

デュアルモノラルコンストラクション
電源回路から完全に左右対称のデュアルモノラルコンストラクションを構成し、チャンネルセパレーション90dB以上(20Hz~20kHz)を達成しています。

電源トランスダイレクトグラウンディング
DIRECT GROUNDING CONSTRUCTION™
＜無振動・無共振・無干渉 構造実現のメカニカルアース＞
アナログ回路とコントロール用デジタル回路の電源を通じた相互干渉による音質劣化を避けるために、アナログとデジタル用にそれぞれの専用トランスを使用して電源供給をしています。本機の大型Rコア型電源トランスは低磁束密度による余裕を持った動作を行い、磁気振動とリキージフラックスの発生を極力抑えています。更にこのトランスは電気・磁気抵抗の高い絶縁体である5mm厚のベーク板を介して、直接ハイカーボンスチール丸棒削り出しのフットに組みつけられ、電源トランスが発する振動はシャーシに伝播されることなく直ちに大地に放出される構造となっています。



主な仕様	
形式	ハイブリッドゲインコントロール回路搭載 コントロールアンプ
入力感度	2.5mV(MM) 0.12mV(MC) 200mV(ラインアンプ)
リアカーブ偏差	± 0.3dB(20Hz ~ 20kHz)
入力インピーダンス	47k (MM) 470 (MC) 47k (ラインアンプ)
利得	38dB(MM) 63dB(MC) 17dB(unbalance) 23dB(balance)
入力換算S/N比	-124dBV (MM) -140dBV (MC)
残留雑音	-103dBV(7μV): A-NET
チャンネルセパレーション	90dB以上(20Hz ~ 20kHz)
定格出力電圧	1.5V(1k Hz)
周波数特性	5Hz ~ 80kHz(+0, -3dB)
出力インピーダンス	150 (unbalance, balance)
バランス出力ピン設定	1ピン=GND, 2ピン=HOT(+), 3ピン=COLD(-)
消費電力	12W(100VAC 50 ~ 60Hz)
入出力端子	真鍮削り出し金メッキ端子
外形寸法(最大)	430(幅)×104(高さ)×360(奥行)mm
質量	7.7kg
付属品	電源ケーブル、専用リモコン(リモコン電池:単3 2本)

本機の音量調整回路について
従来の音量調整回路では、入力インピーダンスを確保するために比較的高い抵抗値のボリュームが使用され、音量の設定によって、出力インピーダンスが大幅に変動してしまいます。最も使用頻度の高い30 ~ 10dBの音量設定領域では出力インピーダンスが数k ~ 10数k へ上昇し、L・Rチャンネル間クロストークの悪化や、接続されるアンプの入力インピーダンスの影響を大きく受け、特性や音質の劣化を生じてしまいます。本機の音量調整回路は、一切のアクティブ素子を用いることなく、高入力・低出力インピーダンスを実現し、音量設定位置による出力インピーダンスは数100 以下の極めて低い値に保たれます。この結果、本機では音量を絞っても浸透力を保ち、音が痩せることなく音楽をお楽しみいただけます。



このハイブリッドゲインコントロール回路技術は、平成19年度神奈川県中小企業新商品開発等支援事業に選定されました。

価格 430,000円(税別) 451,500円(税込)

製品の仕様、及び外観は改良のため予告なく変更する場合があります。